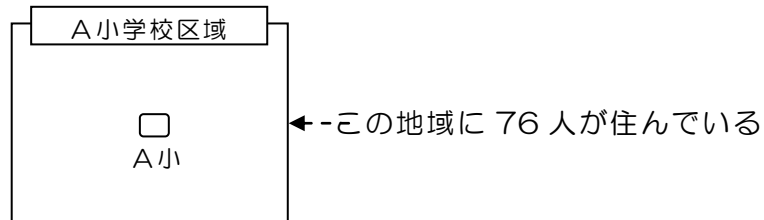


小学校の入学者の推計方法

1 平成 24～29 年度の入学者数

(1) 住民基本台帳から、当該年度に各小学校に入学する通学区域人口を集計する。

例 A小学校の通学区域に住んでいて、平成 24 年度に入学する年齢（平成 17 年 4 月 2 日～18 年 4 月 1 日生）の児童が 76 人いる。



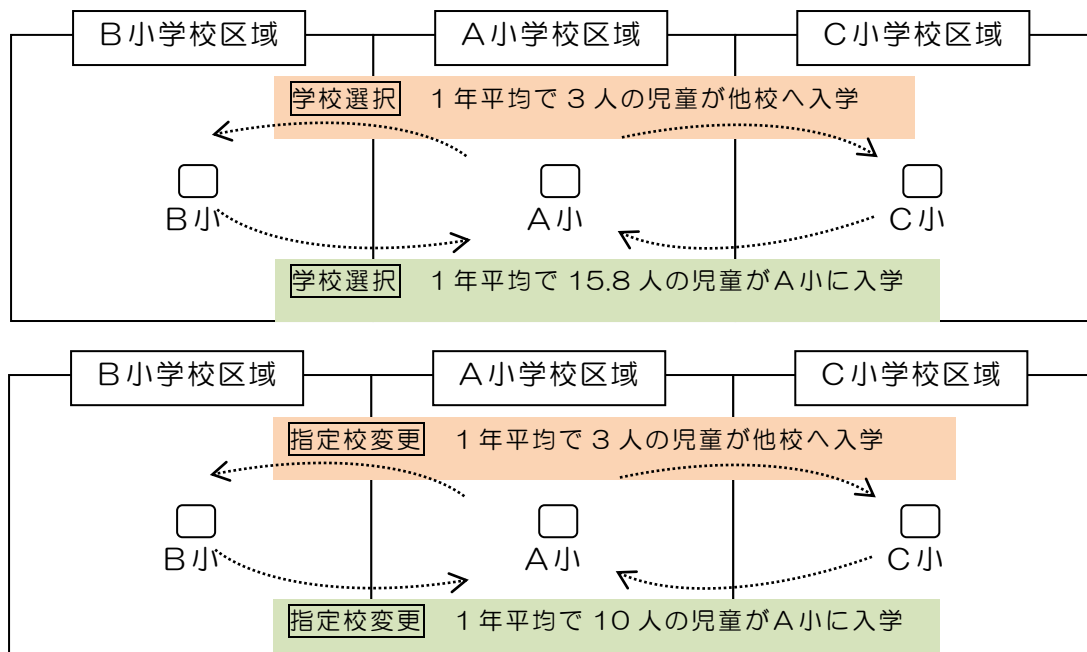
(2) (1)から、各小学校の学校選択・指定校変更・私学等（以下「学校選択等」という。）の影響を加える。なお、学校選択等の影響は、平成 20～23 年度に出現した割合の平均を用いる。

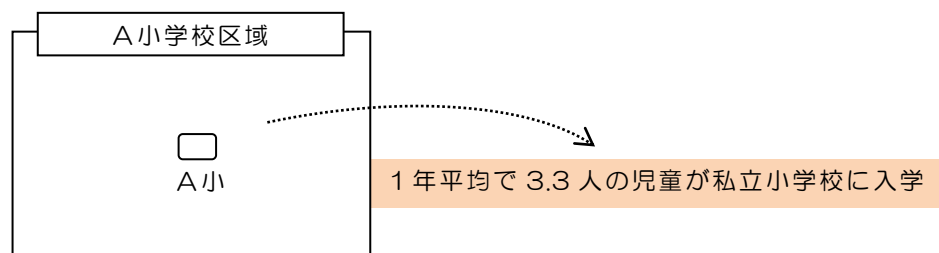
例 平成 20～23 年度の 4 年間で学校選択制度を利用して計 63 人の児童が A 小学校に入学した。また、平成 20～23 年度の 4 年間に、学校選択制度を利用して、A 小学校の通学区域から A 小学校以外の学校に 12 人の児童が入学した。

同様に指定校変更により 4 年間で計 40 人の児童が A 小学校に入学し、12 人の児童が A 小学校以外に入学した。

また、平成 20～23 年度の 4 年間に、A 小学校の通学区域から私立小学校に進学した児童が計 13 人いた。

なお、A 小学校の通学区域に住んでいた児童数（入学の前年の 10 月）は次のとおり。
平成 20 年度：97 人 平成 21 年度：100 人
平成 22 年度：81 人 平成 23 年度：76 人





計算式の例 平成 24 年度入学者数

- ①平成 20～23 年度の4年間の通学区域児童数の平均値を算出
 $(97+100+81+76)$ 人 \div 4年 $=89$ 人/年
- ②学校選択の流入率又は流出率を算出
 $(15.8-3)$ 人/年 \div 89 人/年 $\times 100=14.4\%$ /年流入
- ③指定校変更の流入率又は流出率を算出
 $(10-3)$ 人/年 \div 89 人/年 $\times 100=7.9\%$ /年流入
- ④私学等の流出率を算出
 3.3 人/年 \div 89 人/年 $\times 100=3.7\%$ /年流出
- ⑤平成 24 年度の通学区域児童数から学校選択等の影響を算出
 学校選択 76 人 $\times 14.4\%=11$ 人増
 指定校変更 76 人 $\times 7.9\%=6$ 人増
 私学等 76 人 $\times 3.7\%=2$ 人減
- ⑥平成 24 年度入学者（推計）
 76 人 $+11$ 人 $+6$ 人 -2 人 $=91$ 人

※ 「%」の算出時は小数点以下 2 桁を四捨五入（私学等は切り捨て）しています。
 以下同様。

平成 25 年度から平成 29 年度入学者についても同様に算出する。また、平成 24 年度から平成 29 年度の B 小学校、C 小学校についても、A 小学校と同様に算出する。その結果、3 校の平成 24～29 年度入学者は次のとおりとなった。

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
A小学校	91	104	107	116	116	135
B小学校	84	90	82	79	76	76
C小学校	99	99	87	91	105	98
合計	274	293	276	286	297	309

2 平成 30～37 年度の入学者数

- (1) 平成 29 年度の各小学校の入学者数を基準として、人口推計（中位推計）における平成 30～37 年の 6 歳の人口の増減に合わせて、平成 30～37 年度の各小学校の入学者数を算出する。

例 人口推計（中位推計）における平成 30～37 年の 6 歳人口の増減は次のとおり。

- 平成 30 年：前年度比 2.6%減
- 平成 31 年：前年度比 2.5%減
- 平成 32 年：前年度比 2.6%減
- 平成 33 年：前年度比 1.6%減
- 平成 34 年：前年度比 1.7%減
- 平成 35 年：前年度比 1.7%減
- 平成 36 年：前年度比 1.6%減
- 平成 37 年：前年度比 1.7%減

計算式の例 A 小学校の平成 30～37 年度入学者

①平成 30 年度入学者

$$135 \text{ 人 (前年度入学者)} \times (100 - 2.6) \% = 131 \text{ 人}$$

※人口推計（中位推計）における減少（前年度比 2.6%減）に合わせるよりも、平成 23 年 12 月末現在の 0 歳児の人数（4 月から 12 月までの 9 か月分）から平成 30 年度入学者数を予測した方が、より実態に近い入学者数になると判断したため、平成 30 年度入学者数を 116 人とする。B 小学校及び C 小学校も同様

②平成 31 年度入学者

$$116 \text{ 人} \times (100 - 2.5) \% = 113 \text{ 人}$$

③平成 32 年度入学者

$$113 \text{ 人} \times (100 - 2.6) \% = 110 \text{ 人}$$

④平成 33 年度入学者

$$110 \text{ 人} \times (100 - 1.6) \% = 108 \text{ 人}$$

⑤平成 34 年度入学者

$$108 \text{ 人} \times (100 - 1.7) \% = 106 \text{ 人}$$

⑥平成 35 年度入学者

$$106 \text{ 人} \times (100 - 1.7) \% = 104 \text{ 人}$$

⑦平成 36 年度入学者

$$104 \text{ 人} \times (100 - 1.6) \% = 102 \text{ 人}$$

⑧平成 37 年度入学者

$$102 \text{ 人} \times (100 - 1.7) \% = 100 \text{ 人}$$

B 小学校、C 小学校も同様に算出する。その結果、3 校の平成 30～37 年度入学者は次のとおりとなった。

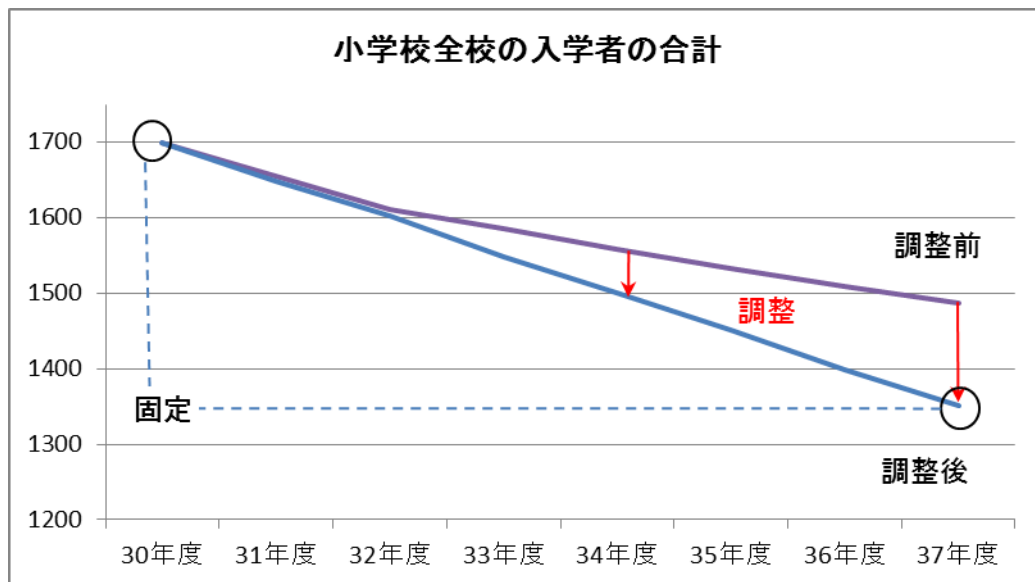
	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度
A 小学校	116	113	110	108	106	104	102	100
B 小学校	83	81	79	78	77	76	75	74
C 小学校	101	98	95	93	91	89	88	87
合計	300	292	284	279	274	269	265	261

(2) 人口推計（中位推計）等を踏まえて、各小学校の入学者数に応じて補正する。

人口推計（中位推計）によると、平成 37 年の 6 歳人口は 1,351 人である。他校においても(1)と同様に平成 37 年度の入学者数を計算すると、小学校全校の合計が 1,487 人となり差異が出たため、人口推計（中位推計）の 1,351 人に調整する。

調整方法 平成 30～37 年度入学者

平成 30 年度と平成 37 年度の入学者を固定し、平成 30～36 年度の入学者を調整する。



調整の結果、各年度の前年度比の減少率は次のとおりとなった。

- 平成 31 年度：前年度比 3.1%減
- 平成 32 年度：前年度比 2.8%減
- 平成 33 年度：前年度比 3.4%減
- 平成 34 年度：前年度比 3.1%減
- 平成 35 年度：前年度比 3.3%減
- 平成 36 年度：前年度比 3.6%減
- 平成 37 年度：前年度比 3.4%減

計算式の例 A小学校の平成 31～37 年度入学者

- ①平成 31 年度入学者
 $116 \text{ 人} \times (100 - 3.1) \% = 112 \text{ 人}$
- ②平成 32 年度入学者
 $112 \text{ 人} \times (100 - 2.8) \% = 109 \text{ 人}$
- ③平成 33 年度入学者
 $109 \text{ 人} \times (100 - 3.4) \% = 105 \text{ 人}$
- ④平成 34 年度入学者
 $105 \text{ 人} \times (100 - 3.1) \% = 102 \text{ 人}$
- ⑤平成 35 年度入学者
 $102 \text{ 人} \times (100 - 3.3) \% = 99 \text{ 人}$
- ⑥平成 36 年度入学者
 $99 \text{ 人} \times (100 - 3.6) \% = 95 \text{ 人}$

⑦平成 37 年度入学者

$$95 \text{ 人} \times (100 - 3.4) \% = 92 \text{ 人}$$

B小学校、C小学校も同様に算出する。その結果、3校の平成 30～37 年度入学者は次のとおりとなった。

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度
A小学校	116	113	109	106	102	98	96	92
B小学校	83	80	78	75	73	71	69	66
C小学校	101	98	95	92	89	86	83	81
	300	291	282	273	264	255	248	239

※必要に応じ端数調整あり

3 平成 38～40 年度の入学者数

平成 37 年度の各小学校の入学者数を基準として、人口推計（中位推計）における平成 38～40 年の 6 歳の人口の増減に合わせて、平成 38～40 年度の各小学校の入学者数を算出する。

例 人口推計（中位推計）における平成 38～40 年の 6 歳の人口の増減は次のとおり。

平成 38 年：前年度比 2.7%減

平成 39 年：前年度比 0.8%減

平成 40 年：前年度比 0.8%減

計算式の例 A小学校の平成 38～40 年度入学者

①平成 38 年度入学者

$$92 \text{ 人 (前年度入学者)} \times (100 - 2.7) \% = 90 \text{ 人}$$

②平成 39 年度入学者

$$90 \text{ 人} \times (100 - 0.8) \% = 89 \text{ 人}$$

③平成 40 年度入学者

$$89 \text{ 人} \times (100 - 0.8) \% = 88 \text{ 人}$$

B小学校、C小学校も同様に算出する。その結果、3校の平成 38～40 年度入学者は次のとおりとなった。

	38年度	39年度	40年度
A小学校	90	89	88
B小学校	64	64	63
C小学校	78	77	77
	232	230	228

※各年度に入学した児童が翌年度に全員進級し、転入転出はないものとして各校の就学者を算出している。